

共同浴場

塩原全域には、ボランティア運営の小さな温泉が数カ所ある。このような地元の浴場は、伝統的に小さな集落によって造られ、利用されていた。家庭用の風呂が一般的になる前、塩原には多くの公衆浴場があったが、年月を経て、4カ所以外の全てが閉鎖された。

これらの共同浴場には係員がいないため、入浴者は入場料を箱に入れる。浴場には更衣室があるものと、そうでないものがある。湯本温泉地区の浴場は男性用と女性用にわかれているが、もみじの湯は、皆で一つの浴場を利用する。残りの浴場のうち、もみじの湯は唯一の野外風呂、つまり「露天風呂」で、秋にはそれを取り囲むもみじが一気に色を帯びる。

また、温泉郷にはいつでも利用可能な無料の足湯がいくつかある。

湯本温泉地区（奥塩原）

寺の湯

酸性硫黄泉、アルミニウム—硫酸塩泉

中の湯

単純酸性硫黄泉

むじなの湯

酸性硫黄泉、アルミニウム—硫酸塩泉

古町温泉地区

もみじの湯

ナトリウム・カルシウム—塩化物泉、炭酸水素塩泉